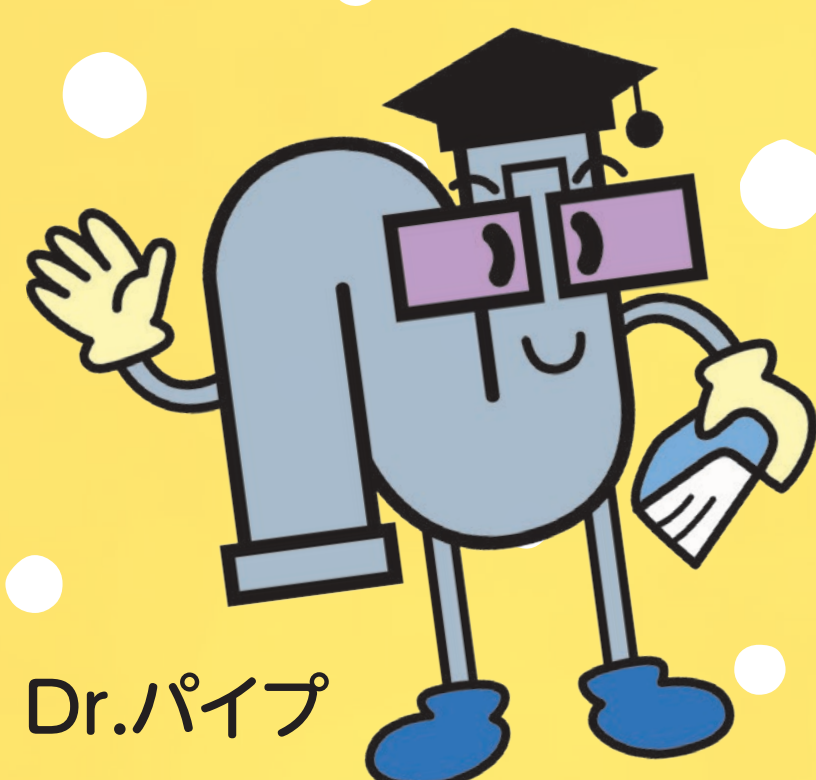


下水の熱エネルギーを



Dr.パイプ

利用した雪処理



クリンちゃん

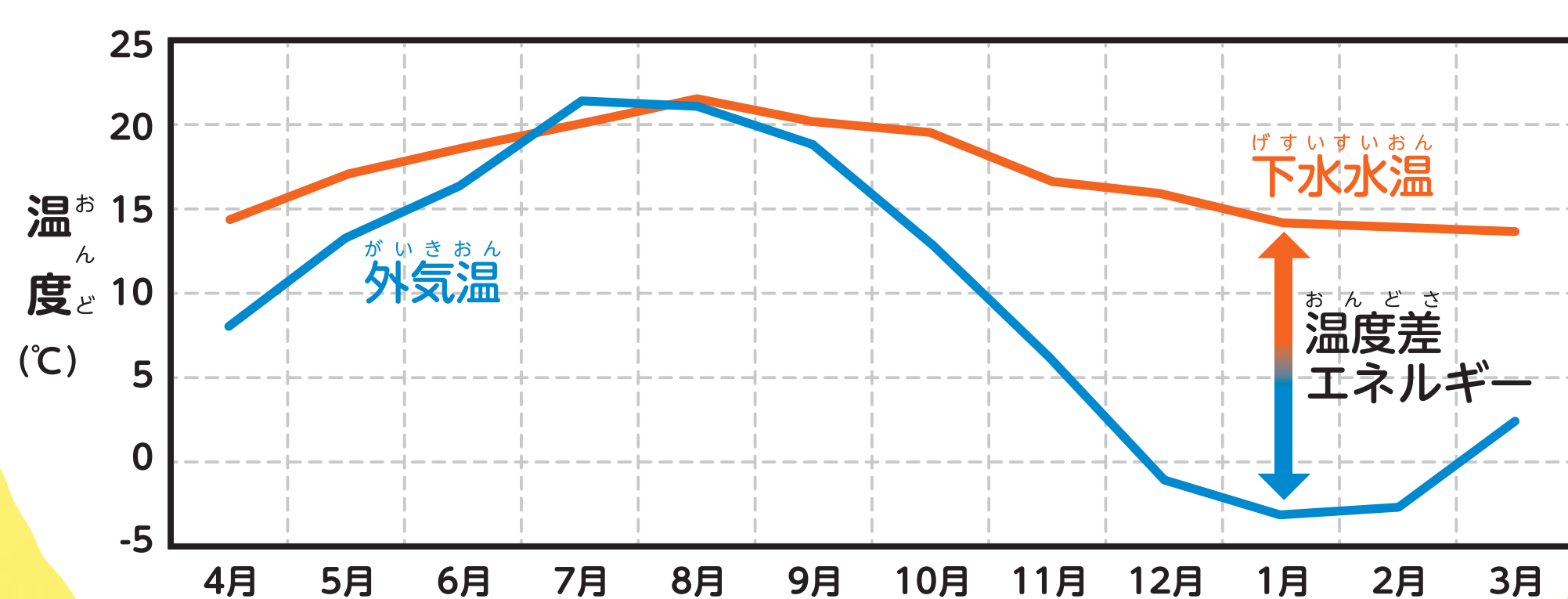
札幌市は、年間5m近くもの雪が降る世界的にもめずらしい大雪の大都市です。

札幌市では、下水の熱エネルギーである「下水熱」を有効利用した雪処理を行っており、現在17か所の雪処理施設が整備されています。

下水熱とは？

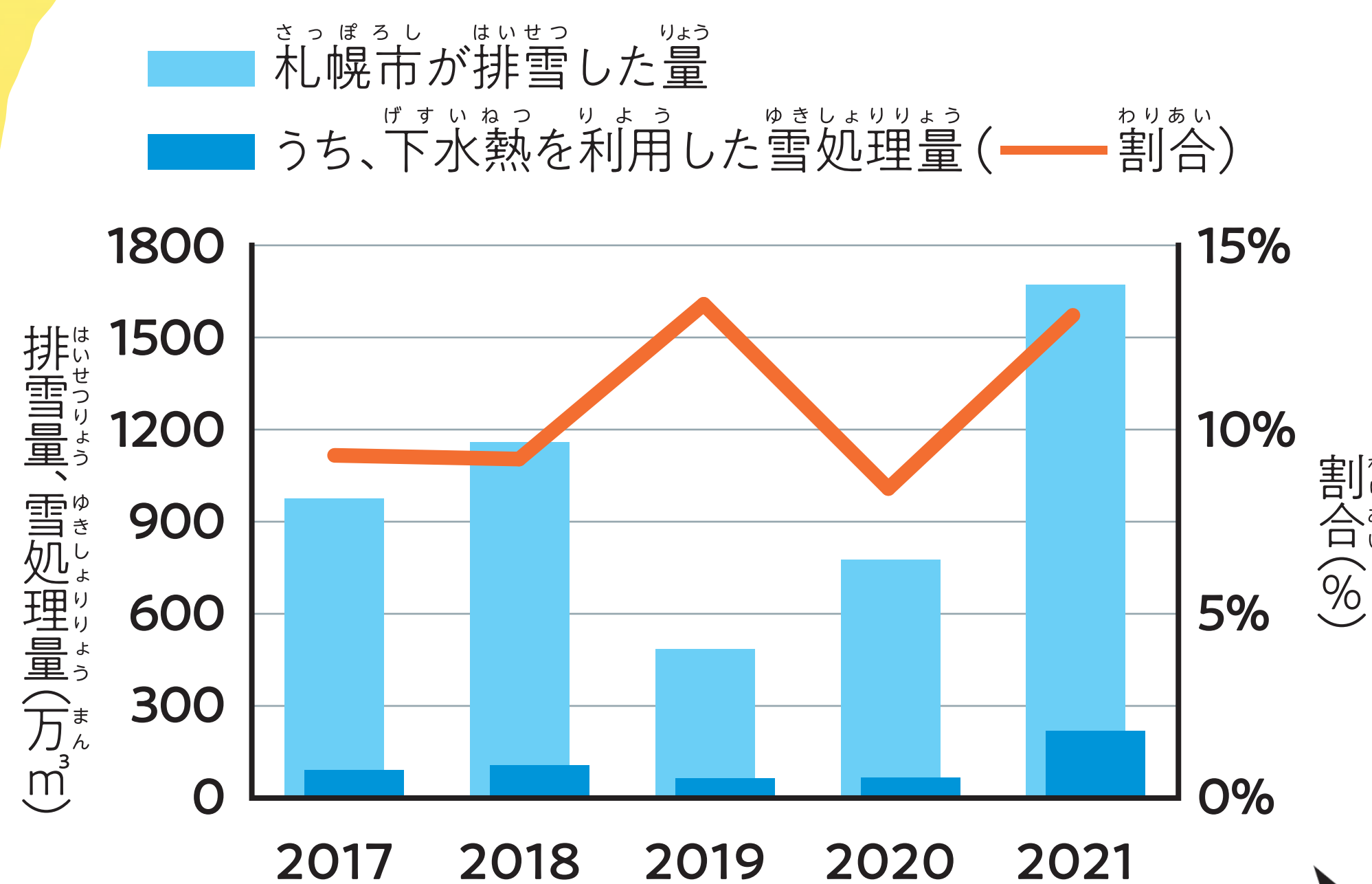


下水の水温は、外気温よりも「夏は冷たく、冬は温かい」といった特徴があり、この温度差エネルギーを「下水熱」といいます。



下水水温: 新川水再生プラザの月平均流入水温(2018年度)
外気温: 札幌市の月平均気温(2018年度 気象庁ホームページより)

下水熱を利用した雪処理量

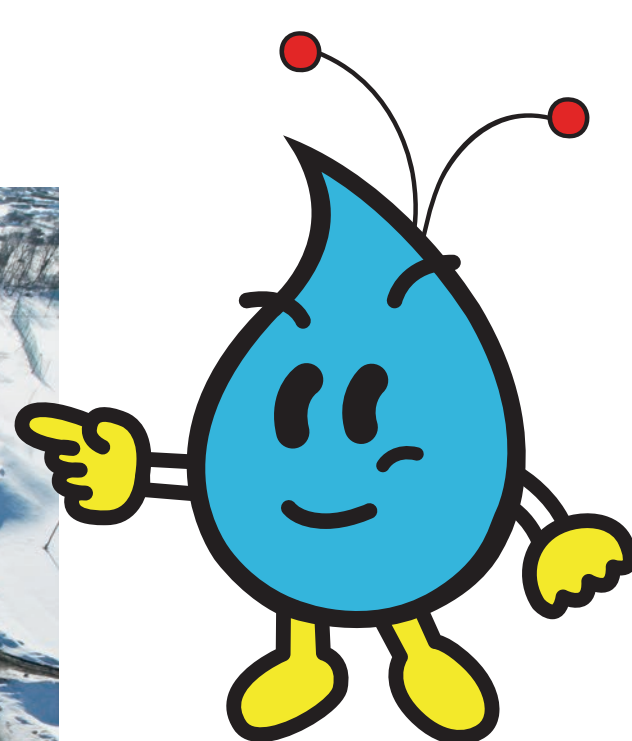


大雪だった2021年は学校のプール
約6800杯分(排雪量全体の13%)
の雪を処理しているよ!



市街地で雪を効率的に処理

雪をダンプトラックなどで集めて置いておく雪堆積場は、札幌市の郊外に多いため、市街地で大量の雪を融かすことができる下水道の雪処理施設は、効率的な雪処理のために重要なものとなっています。



雪堆積場

